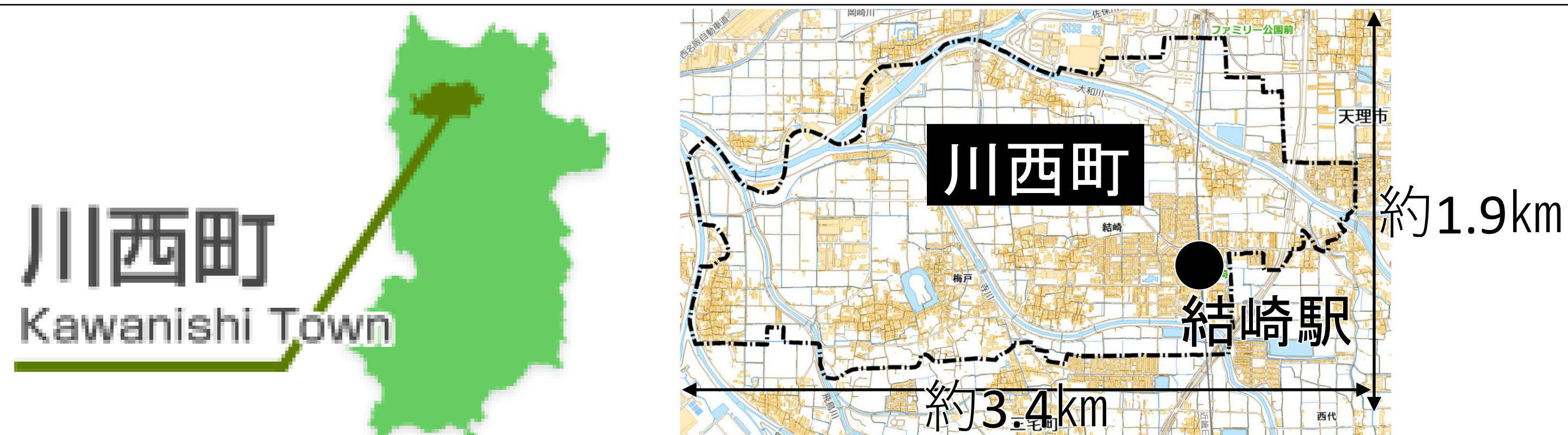


「交通・健康・拠点」の共創によるウェルビーイング向上への挑戦

■中央復建コンサルタンツ(株) 富久直哉・山室良徳・藤善隆次
 ■川西町総合政策課 奥田好志・鈴木大誠
 ■富山大学 都市デザイン学部 猪井博登
 ■三宅交通 ■スーパおくやま
 ■国立研究開発法人産業技術総合研究所 橋本尚久・佐藤稔久・三浦貴大・Tran Yen・安藤貴史

奈良県川西町

- 大和盆地のほぼ中央に位置し、人口約8,000人
- 東西3km,南北2kmのコンパクト
- 4河川が大和川に注ぐ水辺の町
- 能楽観世流発祥の地
- 近年は住宅地開発や工業団地も誘致

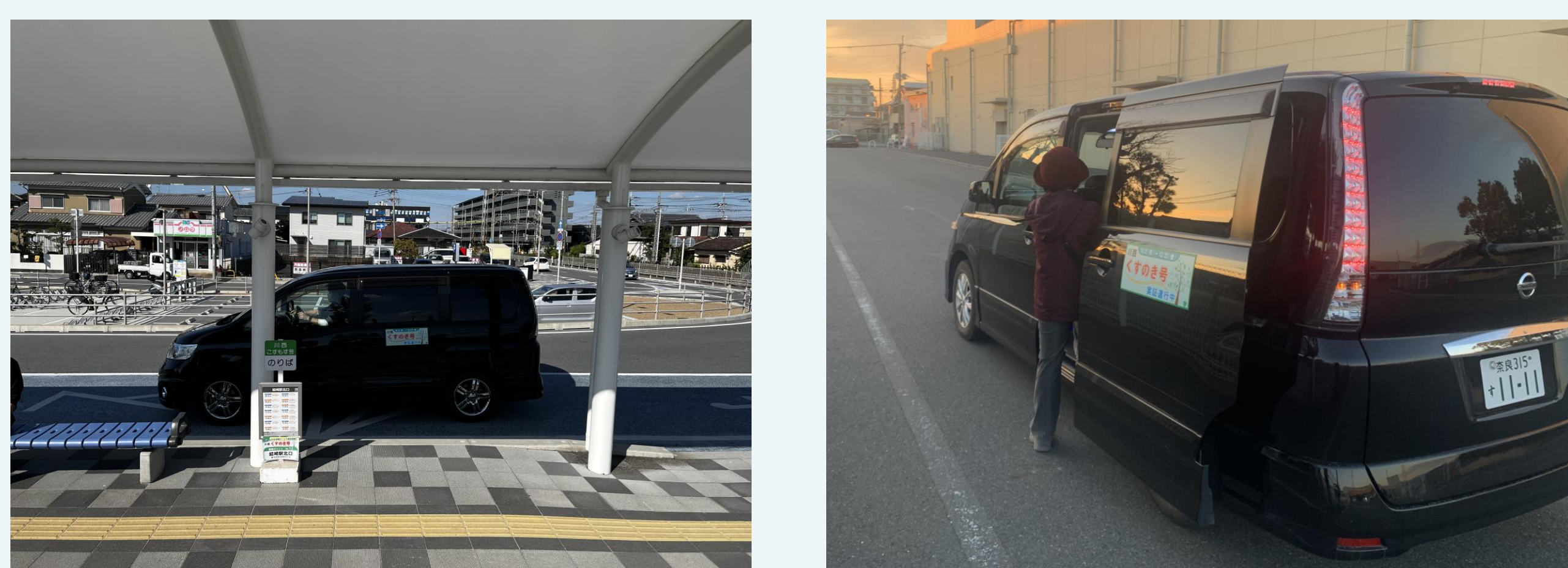


取組みの概要

令和5年度地域新MaaS創出推進事業（経産省）採択

デマンド型乗合タクシー実証

- 町内約130か所に乗降場所を設定し、町民および町内工業団地企業関係者が利用可。（登録者数266名、実利用者数86名）
- デマンドシステムを導入し、電話・アプリで利用の30分前まで予約が可能。
- 町民の移動利便性の向上、朝夕の工業団地関係者の移動にも対応し、公共交通の効率化（利用時間の平準化）を図る。



健康増進・小さな拠点づくり実証

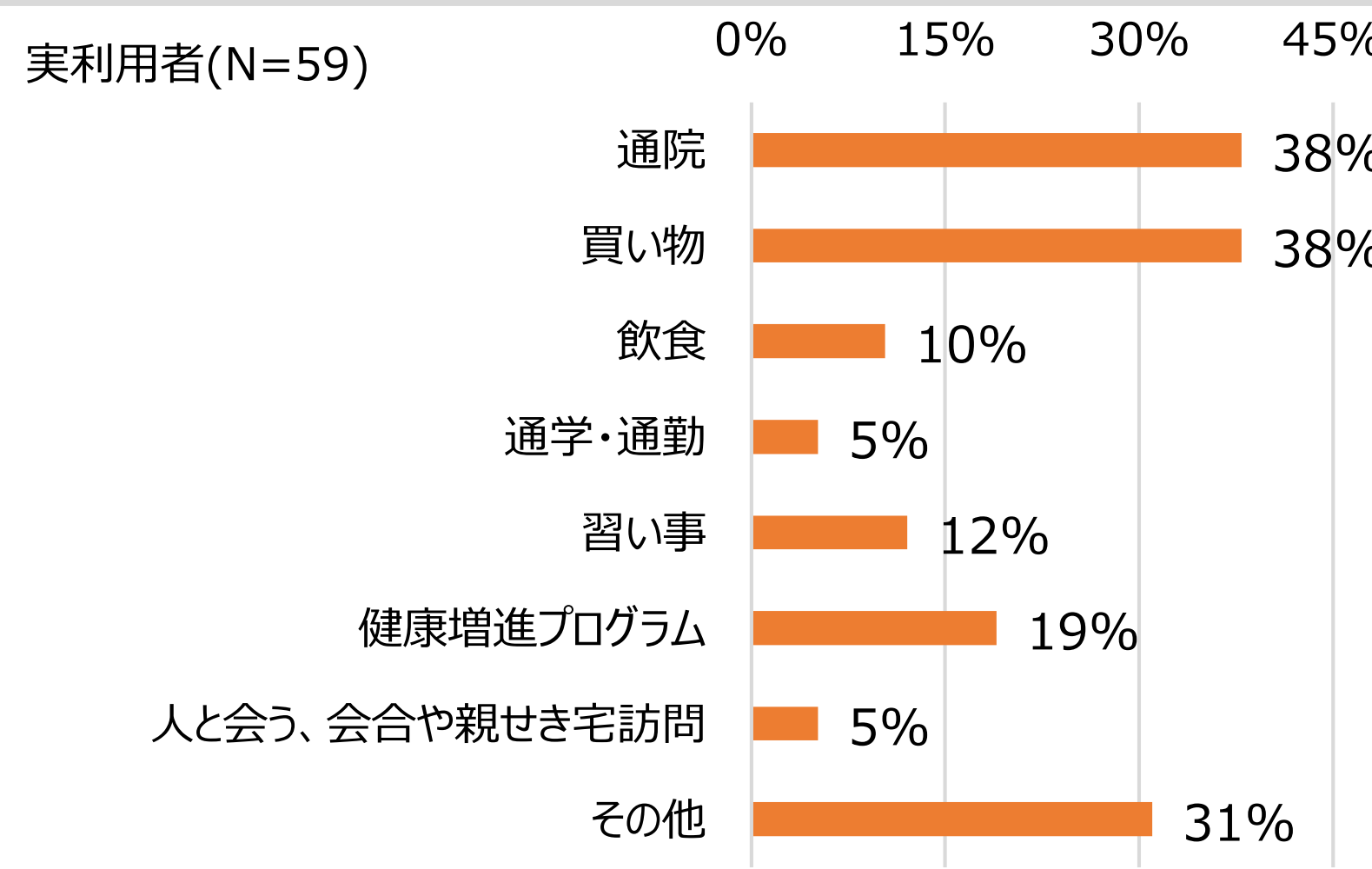
- 町内唯一のスーパー「おくやま」のシェアスペースを活用し、ゲーミフィケーションプログラム（TANO）を活用した身体を動かす健康増進プログラム（41名参加）や、認知症や骨粗しょう症予防等をテーマとした健康講座（52名参加）を実施。
- 定期的な外出以外の「お楽しみごと」の提供により、高齢者の行動変容（午後の外出）を促す。
- シェアスペースは、デマンドタクシーの予約センターも兼ね、対面で利用登録勧誘や予約方法の説明を実施。



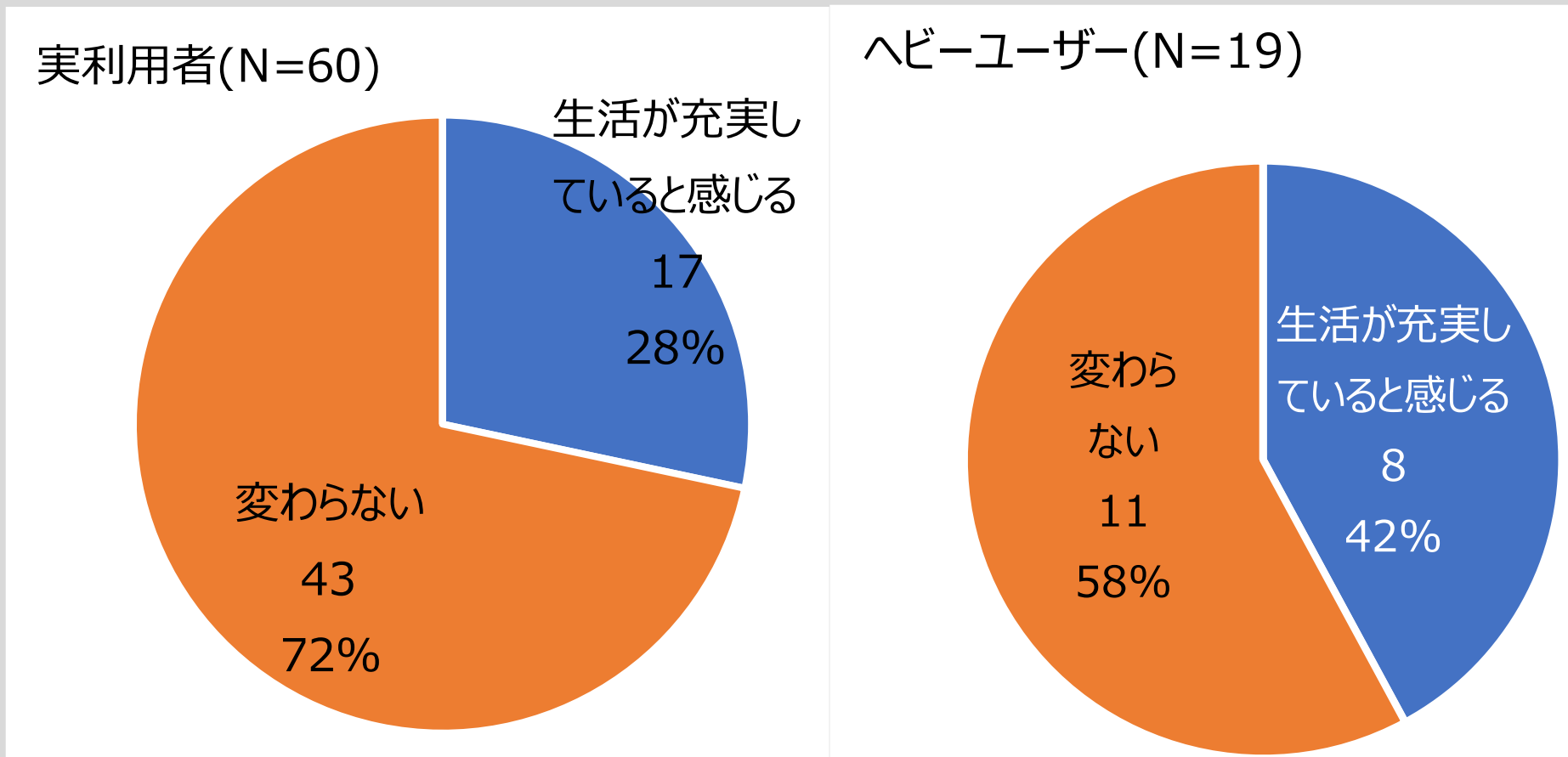
① 実験参加者の行動や経済活動の変容（デマンドタクシー）

- 実証運行開始前に比べ、外出頻度の向上、新しく行く場所の増加、外出への抵抗の減少、生活の充実度の向上が確認できた。
- 買物目的での利用で、外出頻度・新しく行く場所が増加しており、経済活動や消費活動の増加に寄与したと考えられる。

【デマンドタクシー利用目的】



【生活の充実度の変化】



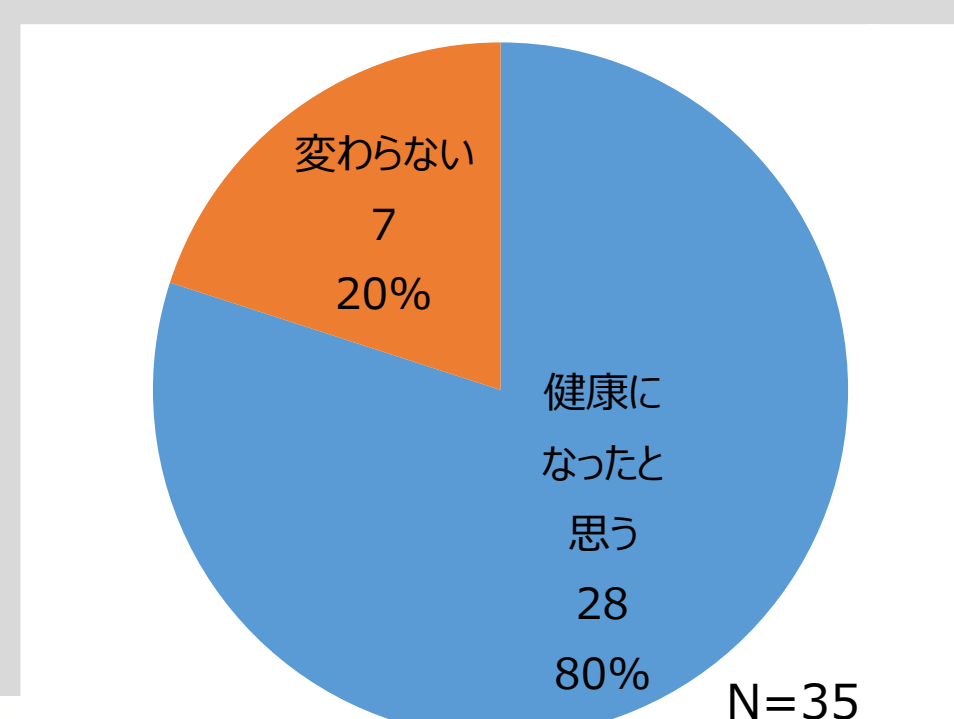
② 実験参加者の身体機能・精神心理機能の変化（健康増進プログラム）

- プログラム参加前に比べ、身体機能については歩行能力が向上している他、認知機能にも有意または有意に近い改善がみられた。
- 運動や外出のきっかけ、時間の有効活用、人との関わりができたこと等により、参加者の大半が参加前に比べて健康になった、生活が充実したと感じ、精神的な幸福度が高まったことが確認できた。

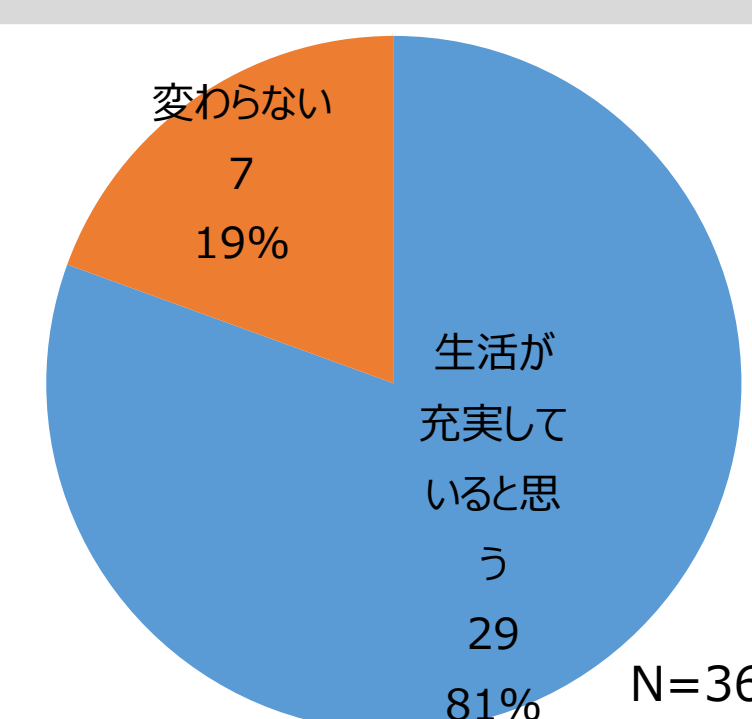
【TUG歩行テストの変化（単位：秒）】

実施曜日	初回	最終回
火曜日	10.60	8.00
木曜日	7.78	6.99
金曜日	7.39	7.16

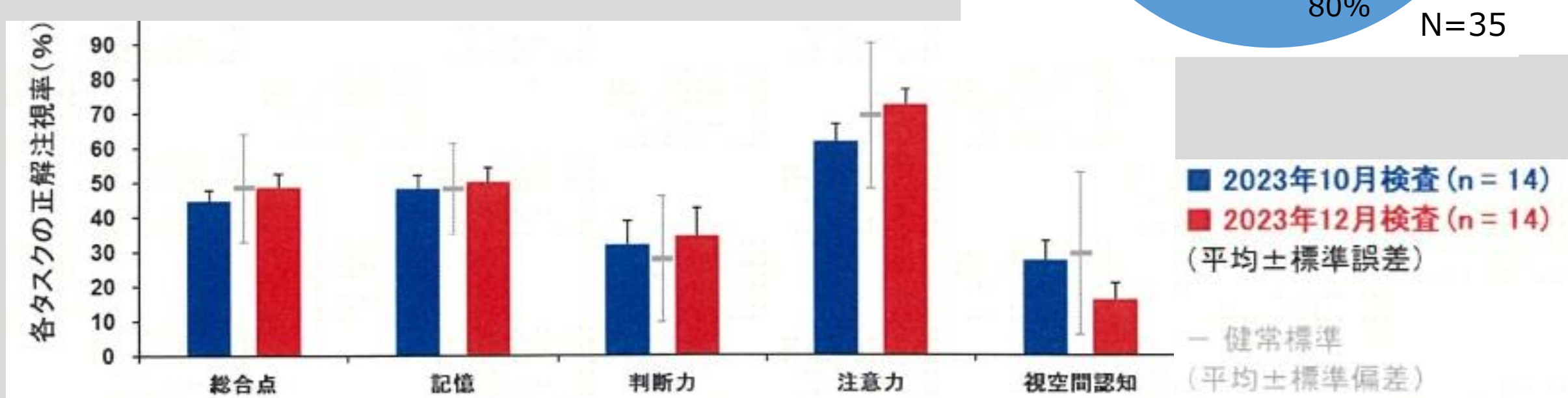
【健康の変化】



【生活の充実度の変化】



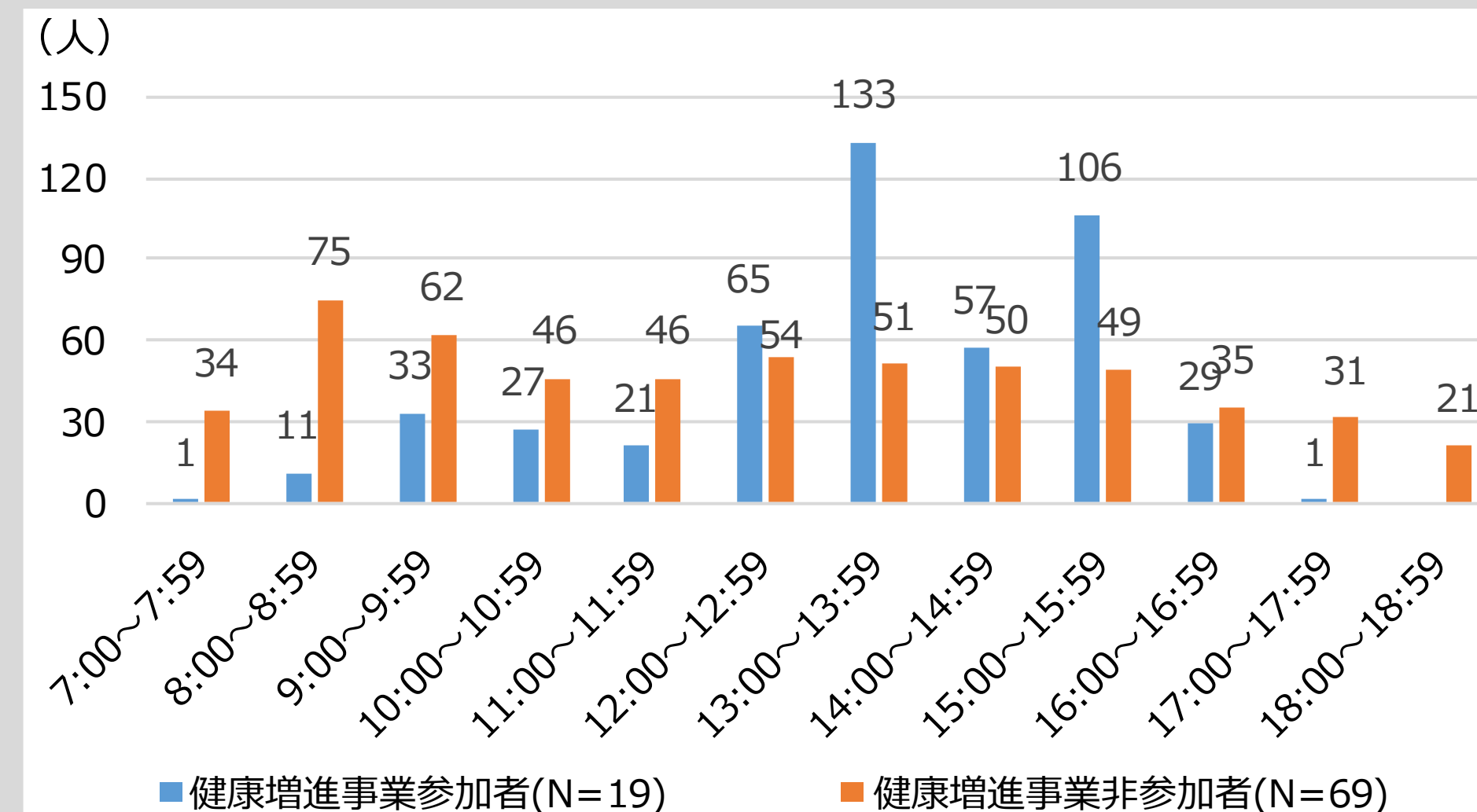
【認知機能テストの変化（金曜日実施分）】



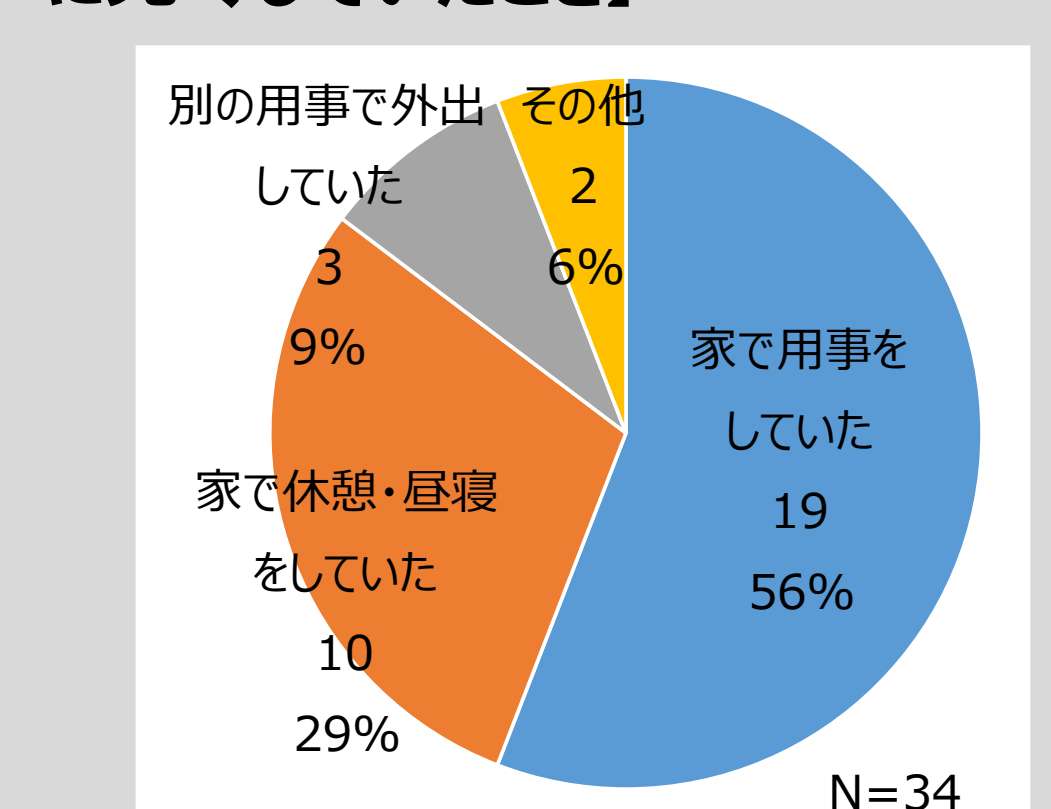
③ 社会実装に向けた事業の持続可能性

- 健康増進事業の実施がデマンドタクシー利用者増に寄与するとともに、健康増進事業の実施により高齢者の午後の外出機会が拡大し、両事業のセットでの実施が、それぞれの事業の利用促進につながったと考えられる。
- 健康増進事業によりデマンドタクシー、既存コミバスの利用が促進され、両者が共存して公共交通利用者が増加する可能性が確認できた。
- 地域に根付いたNPO組織が小さな拠点・健康増進事業の運営に前向きだが、料金設定が課題。
- 持続可能なサービス提供に向けた運行資源（運行事業者、ドライバー）の確保が課題。

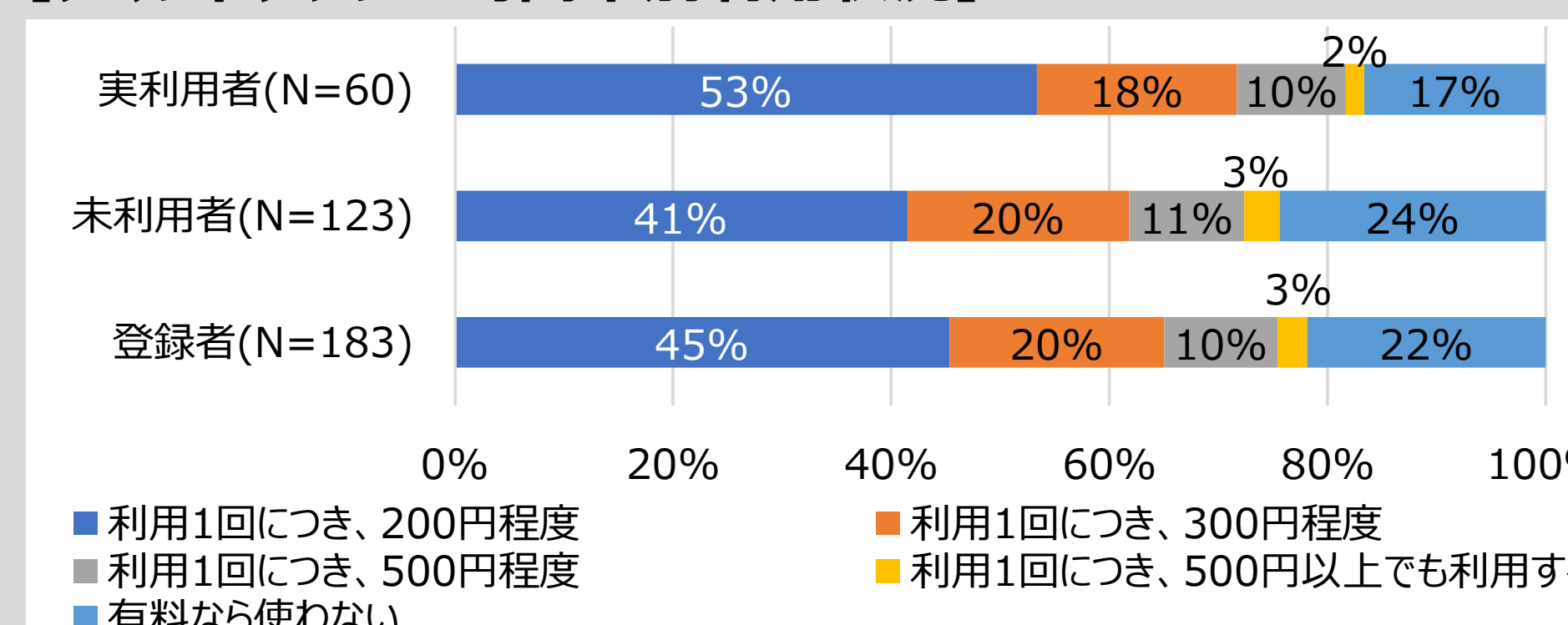
【デマンドタクシー時間帯別利用状況】



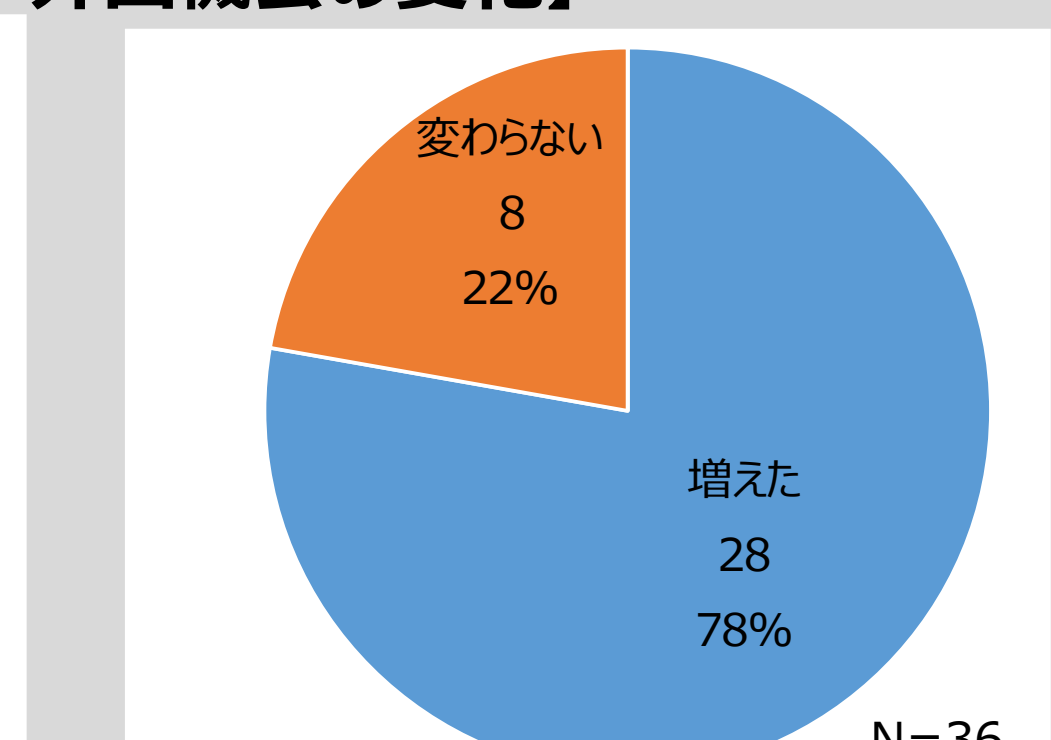
【健康増進プログラム参加時間帯に元々していたこと】



【デマンドタクシー時間帯別利用状況】



【健康増進プログラム参加による外出機会の変化】



取組みの効果と実装に向けた課題